

赤十字おおやま

NO. 27

Okayama Chapter



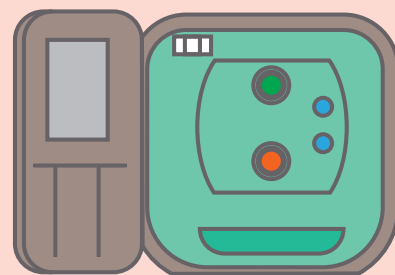
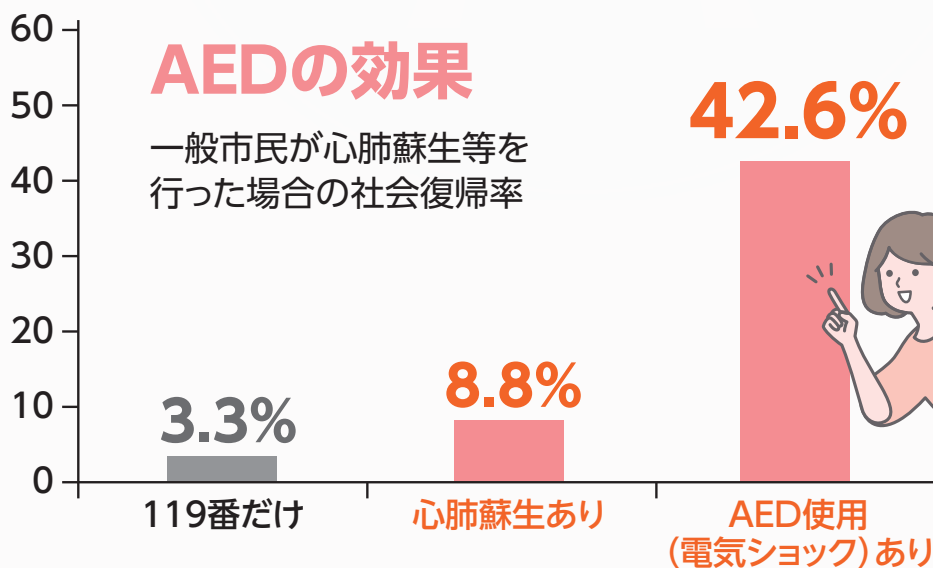
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



「命を救うAED」

あらためて知ろう！

一般市民による使用が認可されて20年



AED

Automated External Defibrillator

自動体外式除細動器

(出典:総務省消防庁「令和5年版救急・救助の現況」)

一般市民による使用が認可されて20年 あらためて知ろう！「命を救うAED」

日本では、突然の心停止となる人の数が1年間で約9.1万人にのぼります。
突然の心停止は、心臓が細かく震えだす心室細動という不整脈によって生じることが多く、
心臓を正常な動きに戻すためには、電気ショックにより心臓の震えを取り除く「除細動」が必要となります。
電気ショックを実施できるAEDの使用が一般市民に認められてから、今年で20年。
いざという時のために、AEDの使い方を確認しませんか。

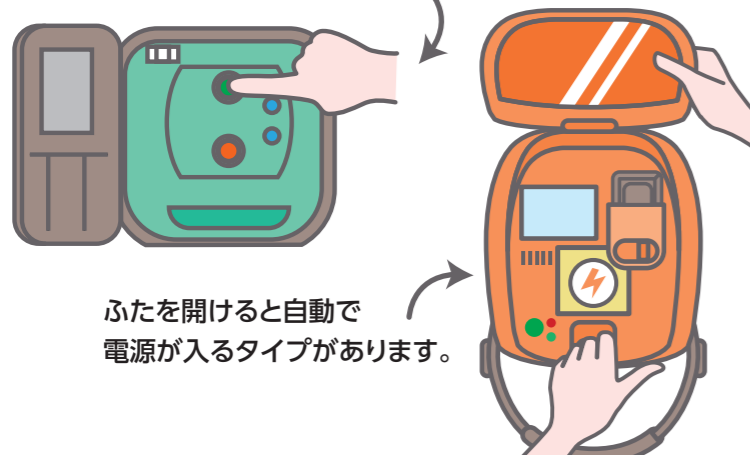
設置場所は
このマークが
目印です。



■AEDの使い方

1 電源を入れる

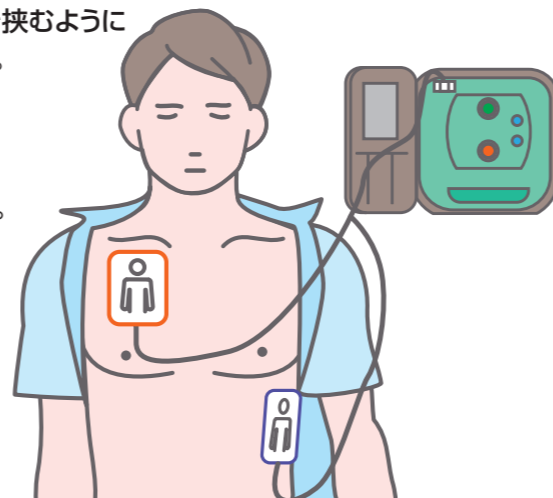
電源ボタンを押すタイプと、



ふたを開けると自動で
電源が入るタイプがあります。

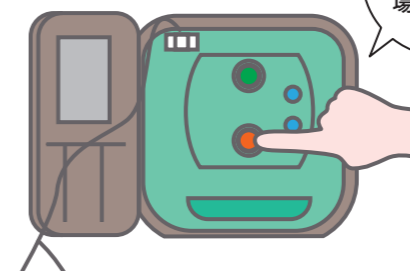
2 電極パッドを貼る

電極パッドは、心臓を挟むように
素肌に貼り付けます。
AEDが心電図を
解析しますので、
解析中は傷病者に
触れないでください。



3 ショックボタンを押す

AEDから電気ショックの指示がでたら、
傷病者に誰も触れていないことを確認し、
ショックボタンを押します。



オート
ショックAEDの
場合は不要

救命サポーターアプリ 「team ASUKA」

地図上でAEDの設置場所を確認する機能や、救命処置を学ぶ機能など、いざという時に皆さんの救命行動を支援するアプリです。

救命サポーターアプリは二次元コードから入手できます(アプリストアにアクセス)



■心肺蘇生

強く、速く、絶え間なく押す

AEDの使用と、心肺蘇生の実施を
組み合わせることで、救命率が高くなります。



Column オートショックAEDが登場!

従来のAEDにはショックボタンがありますが、押すことをためらい使われないケースがあったことから、自動的に電気ショックが実施されるオートショックAEDの普及が始まっています。

この
マークが
目印です。



画像提供: JEITA 一般社団法人
電子情報技術産業協会

指導員を派遣します

町内会や自治会、学校や企業等に指導員を派遣し、
AEDの使い方や心肺蘇生の方法をお伝えします。
乳幼児への心肺蘇生についても学ぶことができます
ので、お気軽にお問い合わせください。



お問合せ先

日本赤十字社岡山県支部

TEL086-221-9595

世界では今も、支援を必要としています。



活動への支援

健康で安全な暮らしを守る

ラオス赤十字社の指導員とともに心肺蘇生の練習をする高校生たち



災害の被災者への支援

被災した子どもに食事と水を提供するアフガニスタン赤新月社のボランティア



支援物資の準備を行うエジプト赤新月社のスタッフ

紛争に苦しむ

人々への支援

救急車で負傷者を搬送するパレスチナ赤新月社のスタッフ



NHK海外たすけあいが始まります！



実施期間：令和6年12月1日(日)～25日(水)

岡山県内においては中国銀行の本支店、JAの各支所、各市町村の赤十字窓口、各赤十字施設等においてお受けしています。

赤十字が行う国際活動は皆さまからのご寄付によって支えられています。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

また、海外たすけあいキャンペーンサイトもオープンしておりますのでご覧ください。

海外たすけあい

検索